

出力可変型FM高出力送信機

SA-200HP



概要

- 送信出力を10Wから100Wまで任意に可変できるFM送信機です。
- コミュニティーFM放送局用送信機として、また災害時など臨時の際に送信出力を100Wまで連続可変できます。

特徴

- 送信出力を10W～100W範囲で可変できるFM送信機です。
- ステレオ変調部、送信部、電源部の全てを一体化。
- 送信部に大電力のPOWER MOSFETを採用し、出力を十分余裕を持たせ、連続送信に余裕をもって耐える設計となっています。
- 豊富なプロテクション回路を搭載し、内的・外的に発生するストレスから回路を保護しています。
- オプションで 外部からの10MHz 基準信号の入力、コンポジット信号の入力ができます。
- 詳細およびその他仕様変更はお問い合わせください。

定格

送信周波数	76MHz～95MHz（指定1波）	
標準送信出力	20W（10W～100W可変可能）50Ω不平衡 N型コネクタ	
送信周波数偏差	±75kHz以内	
音声入力	L/R 入力	0dBm～+4dBm（顧客仕様による）@100%変調（L/R）600Ω バランス、キャノンコネクタ（メス座）
	コンポジット信号入力	1Vp-p（標準）@100%変調（3.5Vp-pまで可能）（顧客仕様による）75Ω BNC
電源電圧	AC 100V±10% 50/60Hz	
消費電力	400VA以下	
使用環境	温度	-10℃～45℃（性能保証範囲）
	湿度	90%以下（結露なきこと）
冷却方式	強制空冷	
外形寸法	482（W）×430（D）×132.6（H）mm（突起物含まず）	
質量	15kg以下	

性能

送信周波数偏差	±0.5 × 10 ⁻⁶ 以内
プリ・エンファシス	50Hz～15kHz: +0dB, -0.5dB以内 @1kHz基準 50μs
歪率（THD+N）	1.0%以内（50Hz～15kHz）
S/N	65dB以上 @1kHz基準
残留振幅変調雑音	無変調時: -60dB以下 100%変調時: -50dB以下
分離度	35dB以上（50Hz～15kHz）
スプリアス	-70dBc以下（スプリアス領域） -60dBc以下（帯域外領域）
占有周波数帯域幅	200kHz以下